

〈第 2 1 回〉

危険物事故事例セミナー

開催要領

危険物保安技術協会

危険物施設における火災・流出事故件数は、最近最も少なかった平成 6 年と比較すると依然として高い水準にあります。

このような状況において、事故が何故起きたのか、再発を防ぐための措置はどうあるべきかは、危険物施設関係者や消防職員にとって重大な関心事であります。

事故の原因としては人的要因、物的要因等があり、事故を防ぐためにはこれらの事故から得られた教訓を活かすことが施設の安全対策に極めて有効であります。具体的な事故事例に対応した措置について知り得る機会は必ずしも十分とはいえません。

このため当協会では、関係消防機関等の専門家を招き、最近国内で発生した危険物に関する事故事例を取り上げ、事故に至った経過、問題点、再発防止策等についてのセミナーを開催し、安全対策の一助としております。

関係の方々に幅広く参加していただきますようご案内申し上げます。

記

1 開催日時及び場所

日 時：平成 24 年 2 月 17 日（金） 13 時 00 分～16 時 40 分

場 所：科学技術館サイエンスホール
東京都千代田区北の丸公園 2-1 科学技術館内

日 時：平成 24 年 3 月 2 日（金） 13 時 00 分～16 時 40 分

場 所：新梅田研修センター
大阪市福島区福島 6-22-20

2 受講対象者

危険物行政に携わる消防機関等の職員の方々、危険物関係事業所の保安業務に携わる方々はもとより、どなたでも受講できます。

3 定員：東京：200名 大阪：120名

4 受講料：9,000円（テキスト代・消費税を含みます。）

なお、消防機関等を除く危険物総合情報システムのご利用登録者の方につきましては、割引料金（6,300円 テキスト代・消費税を含みます。）で受講できます。

5 プログラム及び講演概要

(1) プログラム

| 時間割 | 講演内容 | 講 師 |
|-------------|----------------------------|--|
| 13:00～13:05 | 挨拶 | 危険物保安技術協会 |
| 13:05～13:55 | 東北地方太平洋沖地震に伴い発生した製油所火災について | 総務省消防庁 消防大学校 消防研究センター火災災害調査部 原因調査室長 西 晴樹 |
| 13:55～14:45 | 川崎市内で発生した危険物施設事故について | 川崎市消防局 予防部 危険物課 課長 越谷 成一 |
| 14:45～15:00 | 休憩 | |
| 15:00～15:50 | 定期整備中における事故事例について | 堺市消防局 予防部 指導課 課長補佐 松村 浩行 |
| 15:50～16:40 | リチウムイオン電池の事故と対策及び海外の事故 | 独立行政法人 産業技術総合研究所 安全科学研究部門 若倉 正 英 |

(2) 講演概要

1) 東北地方太平洋沖地震に伴い発生した製油所火災について

昨年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に起因する津波によりタンクの基礎・地盤が洗掘され、タンクが傾斜し、このタンクから危険物が流出したことにより火災が発生した。

この事故の状況、屋外タンク、基礎、配管の調査結果による、火災発生原因や事故の教訓等の紹介。

2) 川崎市内で発生した危険物施設事故について

【事例1】インキ溶剤加熱炉（製造所）において、加熱炉を通常運転中に高圧が発生し爆発した。放爆構造は機能したが、炉内断熱材が飛ばされ、付属設備も変形破損した。

【事例2】指定可燃物である酸無水物のフレイカー設備において、通常運転中にドラムフレイカーが爆発した。爆発によりフレイカー室の屋根、外壁、中仕切壁が破損し、ドラムフレイカー1基、ホッパー2基、屋外集塵機などが焼損した。

これらの事故についての発生原因や事故の教訓の紹介。

3) 定期整備中における事故事例について

【事例1】常温配管の改造工事をするために事前にスチームパージしたところ配管が膨張して、配管ラックにドレンが接触し、ドレンが脱落した。

【事例2】定期整備中で、配管内の流体（重質油）の固化防止のためにスチーム加温していた。循環（流れ）のない配管であったため、設計温度以上に配管の温度が上昇したことで、熱膨張に耐えられず、ラック上の配管固定部に割れが生じた。

これらの事故は、設置時に想定していなかった方法で使用されたために発生した事例である。

4) リチウムイオン電池の事故と対策及び海外の事故

携帯電話、ノートパソコン、ゲーム機等の電子機器やハイブリッド車、電気自動車などに多く使用されているリチウムイオン電池で火災事故が発生している。

事故の事例や防止対策そして海外での事故状況などについての紹介。

6 申込方法

(1) 申込み

当協会のホームページ (<http://www.khk-syoubou.or.jp/>) の「危険物事故事例セミナー」にアクセスし、インターネットにより東京会場は平成24年2月14日迄に、大阪会場は平成24年2月28日迄に申し込んでください。

インターネットによる申込みが難しい方は、別紙「受講申込書兼受講票」に必要事項を記入のうえ、FAXで申し込んで下さい。折り返し、受講番号を記入した受講票を返信します。

(2) 受講料の振込

受講番号を記入した受講票を受取った方は、東京会場は平成24年2月14日迄に、大阪会場は平成24年2月28日迄に当協会指定の銀行に受講料を振込んで下さい（現金による受付け、領収書の発行はいたしません）。

また、申込者の都合により受講を取り止めた場合、原則として受講料は返還しません。

(指定銀行等) みずほ銀行 虎ノ門支店、口座番号 (普通)2902492

口座名 危険物保安技術協会 (キケンブツホアンギジュツキョウカイ)

(振込名) 振込の依頼人名(会社名又は個人名)の前に、受講番号を必ず記入して下さい。

会社名のみで入金する場合は、危険物事故事例セミナー事務局迄ご連絡下さい。

申し込み先：〒105-0001東京都港区虎ノ門4-3-13 神谷町セントラルプレイス1F

危険物保安技術協会 危険物事故事例セミナー事務局 (陣内、畑田、萱原)

TEL:03-3436-2357 FAX:03-3436-2254

<東京会場・科学技術館サイエンスホール案内図>



<交通>

地下鉄東西線「竹橋」駅下車 1B出口より徒歩7分

地下鉄東西線/半蔵門線/都営新宿線「九段下」駅下車 2出口より徒歩7分

都心環状線外回り「代官町」/内回り「北の丸」出口より車で1分

(田安門、清水門からお車での進入はできません。)

<大阪会場・新梅田研修センター案内図>



<交通>

JR大阪駅から新梅田研修センターまで直通バスで5分 [20分おきに出発]
(大阪駅 桜橋口を出てすぐ、高架下よりバスが出発 (バス停はありません))
JR大阪駅から徒歩約15分

第 2 1 回危険物事故事例セミナー

受講申込書 兼 受講票

| | | | |
|--|------------|---------------------------------------|-------------------|
| (ふりがな) 氏 名 | | | |
| 勤 務 先 | 名 称 | | |
| | 所属部課 | | |
| 住 所 | 〒 | | |
| | (連絡先)TEL : | FAX : | |
| 参加会場 | | A 東京(2月17日) B 大阪(3月2日) ABいずれか○で囲んで下さい | |
| 危険物総合情報システムの利用についての登録の有無 (登録されている方は、受講料が割引になります。) | | | 有・無 (○で囲んで下さい) |
| * 事 務 局 用 | 申込受付日 | 受講番号 | 備 考 |
| | | | |

*には、記入しないで下さい。

代理申請者氏名： _____ Tel： _____ Fax： _____

代理申請者とは、受講者本人に代わって受講手続を行う方を言います。受付後、代理申請者にFaxをお返しいたします。

【お申し込み方法】

本申込書に必要事項を記入し、下記宛にFAX送信して下さい。

お申し込み受け付け後、当協会からFAXにてご連絡をいたしますので、下記受講料をセミナー開催日の3日前までに下記口座にお振り込み下さい。

(請求書、領収書の発行及び現金での受付は行いません)

お振り込みの際には、ご依頼人名の前に上記受講番号を必ず記入して下さい。会社名で振り込む場合は、事務局までご連絡下さい(入金予定日が決まりましたら、併せてお知らせ下さい)。なお、振り込み手数料は各自ご負担願います。

(申込、問い合わせ先)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 神谷町セントラルプレイス(旧名秀和神谷町ビル)1F
危険物保安技術協会 危険物事故事例セミナー事務局 (陣内、畑田、萱原)
TEL:03-3436-2357 FAX:03-3436-2254

銀行名：みずほ銀行 虎ノ門支店 普通預金
口座番号：2902492 (口座名：キケンブツホアングジュツキョウカイ)
受講料：9,000円 (テキスト代、消費税含む)
(消防機関等を除く危険物総合情報システムの利用登録者の方は、6,300円)